件名	東京大空襲犠牲者仮埋葬地への表示板設置に関する陳情		
提出者	墨田区太平一丁目25番7号 榎本宅気付		
住所氏名	東京・墨田平和委員会 会長 星野 弘		
受理年月日	平成17年11月18日	受理番号	第5号
<p>要旨</p> <p>墨田区は、東京大空襲で記録によれば2万7,000人余の死者を出し、区内の大半が焼け野原となりました。戦後60年の節目に当たり、区内9箇所の仮埋葬地にその事実を後世に知らせるための表示板を設置してください。</p> <p>(理由)</p> <p>戦後60年が経過し、空襲体験者の高齢化により、人口の7割余りの人々は戦争を知らない人たちとなり、東京大空襲の記憶を歴史にとどめる努力が求められています。</p> <p>旧行政区別で本所区は90%以上が焼け野原となり、2万6,000人余の死者を出す惨状となりました。3月10日の大空襲での死者は、推定10万人以上といわれていますが、米国陸軍航空隊史は「日本においても欧州においても人命、財産の損失がこのように大きかったのは・・・、この戦争の間でも、他に決してなかったのである」と記録されています。まさに、世界史に残る大空襲でした。</p> <p>墨田区議会をはじめ都内の多くの議会の賛同を得て、東京空襲犠牲者の氏名記録が始まり、昨年末で7万6,784人の氏名が記録されました。犠牲者の性別、年齢、被災地が記録されることは、空襲の実相に接近するとともに、無念の思いで亡くなった人々の人格、人間としての尊厳が守られたことと思います。しかし、その死者のほとんどは氏名不詳のお遺骨となり東京都慰霊堂に納められています。</p> <p>区内の仮埋葬は、錦糸公園の1万2,895人をはじめ、9箇所の仮埋葬地が記録されています。</p> <p>この地に由来、経過をしたための表示板を立てて広く区民に知らせることは、東京大空襲の実相を後世に語り継ぐこととなり意義のあることと思います。</p> <p>以上の趣旨をご理解の上、上記事項の実現をお願いいたします。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>			